



12月定例会

補正予算や条例改正など21議案を可決（同意、採択）し、5件の請願を不採択としました。市政一般質問においては、15名の議員が質問を行いました。

条例

子育て環境の充実や子ども健全育成に役立てることを目的とした「大村市子ども夢基金」の創設や市の機構改革に伴う関係条例の整理など7件の条例案を可決しました。

大村市子ども夢基金について審査を行った厚生委員会では、基金を活用して行う事業について質問し、理事者からは「23年度に認定子ども園や幼稚園を含めた保育料第2子無料化事業と

子宮頸がん予防ワクチン等の助成事業を、24年度以降に外国語指導助手（ALT）の増員やホームステイ事業、給付型の奨学金等を検討している」との答弁がありました。

また、市長公室や子ども未来部の新設など市の機構改革について審査を行った総務委員会では、市民の利便性、職員の適正配置、人件費の抑制に十分配慮して実施するよう要求しました。

補正予算

約26億8,650万円を追加する平成22年度の一般会計補正予算を可決したほか、3件の特別会計・企業会計の補正予算を可決しました。

一般会計補正予算の主なものは、入国管理センター跡地に多目的スポーツ広場を建設するため、敷地の造成工事等を行う多目的スポーツ広場整備事業費（5,196万円）、大村公園や野岳湖公園への観光案内板の設置や観光案内所の改修を行う観光客誘致事業（504万円）、放課後